

大阪府立泉南支援学校 令和5年度 第1回 学校運営協議会 記録

1 日 時 令和5年6月28日(水) 10:00～11:30

2 場 所 大阪府立泉南支援学校 会議室

3 次 第

(1) 開会 校長あいさつ

(2) 委嘱状手交

(3) 学校運営協議会委員紹介

(4) 事務局職員自己紹介

(5) 授業見学

(5) 会長・副会長について(以降司会は会長)

(6) 報告

・令和4年度・5年度 学校経営計画及び学校評価について

・令和6年度教科書検定について →委員会にて選定中。第2回の協議会にて報告

なお、令和5年度の教科書については提示

・令和5年度高等部3年生進路先希望状況について

全生徒の希望先:企業就職(A型含む)33% 障がい福祉サービス62% その他5%

企業就職の希望者が今年が多い傾向にある

○意見交換 (*質問・意見 →回答)

*進路希望は本人とご家族の希望かと思うが、希望と進路先のマッチングをどのように行っていくのか?

→各種懇談会を数回持つ中で、徐々に絞り込んでいく。

・18歳で就労していく生徒は20%程度 次の学びの場を考える時代となってきた。

・息子が卒業し、企業就労して10年。その間いろいろな困難があった。妹が支援学校にお世話になることになり、また学校と繋がれたことが大きく、乗り越えられ、現在も働き続けられている。保護者としては、卒業後も少しずついいので地域と連携をしていってほしい。

*就労の経験をするのは大切だと考えるが、現場実習先は増えているのか?

→コロナ禍であったことがかなり影響している。実習先が増えているわけではない。

→現場実習先がコロナ禍で廃業していることも問題の一つである。

・授業見学をして「皆楽しそうに学習している」印象を持った。若い教員が増え、コロナ禍前の学校経営を知らない教員が多くなった。

・中学部の運動会を見学した。いろいろとご苦労されているなど感じた。授業についても工夫をたくさんされていた。

*就職者の定着率は?

→その時その時様々ではある。何度か実習を重ねて就職しているが途中で退職してしまうケースもある。学校としては卒業後も相談に来るよう、勧めている

・支援教育の状況が大きく変化。大阪府全体で支援学級が230学級減。通級指導教室が200学級程増えている。近隣の高校についてもリニューアルされる見通し。支援学校のセンター的機能の在り方も変わっていくであろう。